



「陸こう」の合同遠隔操作訓練を実施

「陸こう」とは、堤防の中を横断する道路または通路に設置されている門扉のことで、洪水時には門を閉めることで堤防と一体となって氾濫を防ぐ施設です。

一関遊水地には「中里陸こう」と「平泉陸こう」の2箇所の陸こうがありますが、5月8日(木)に開閉操作の訓練を一関市及び平泉町と合同で実施しました。

当日は一関遊水地集中管理センター(あいぼーと)から遠隔での開閉操作を行い、道路の通行止めから門扉の開閉、通行止めの解除までを市や町の担当者と連絡を取りながら実施しました。



一関集中管理センターから遠隔での開閉操作実施



陸こうでの点検の様子(中里陸こう)

あいぼーとで「出前講座」開催

平成26年5月7日(水)、北上川学習交流館あいぼーとにて埼玉県さいたま市から放送大学埼玉学習センターの生徒・職員合わせて33名が参加し、北上川の治水対策等についての出前講座が開催されました。

岩手河川国道事務所では、総合的な学習の一環として「出前講座」を開設しています。詳しくは、下記のHPをご覧ください。

<http://www.thr.mlit.go.jp/iwate/demaekouza/index.htm>



北上川についての概要や一関遊水地事業の説明

田植えが最盛期を迎えています

一関遊水地では、春の農作業『田植え』盛んに行われています。天気にもめぐまれており、朝早くから田植え作業する方を見かけます。同時に、農機具での事故が多発しやすい時期でもありますので、取り扱いには十分注意して作業を行ってください。



第1遊水地(820ha)

◆◆編集後記◆◆ 一関遊水地の第2遊水地では毎年色とりどりの稲を用いての「ライスアート」が行われています。今年とはどんなライスアートが見れるのか今から楽しみですね。(え)